

# No.11 世界の国と人々～多様性の中で日本を考える カリキュラム

講師：衛藤<sup>えとう</sup> 秀三郎<sup>しゅうざぶろう</sup>

第4土曜日 10:00～12:00

回	月 日	講 座 内 容
1	4月26日	<u>英国</u> イングランド・スコットランド・ウェールズ・北アイルランドの4つの国の関係、英国王室、階級社会と進取の気風など。近時の増加する移民への対応などを取り上げる。
2	5月24日	<u>マレーシア</u> 原住民のマレー人、移民の中国人・インド人という3つの民族が「大きな塊として共存」している国。民族・文化、共存するための知恵や政策、親日国と温和な国民性など、熱帯の多彩な料理や果物も取り上げる。
3	6月28日	<u>スペイン</u> 西欧で唯一、イスラム教アラブ人征服された過去を持つ。中央部のカステーリア・バレンシア地方の他に、北部のガリシア・バスク、東部のカタルニアなどいまだに独立運動の機運を持つ多民族国家。観光立国であり、陽気な国民性、建築・絵画、料理・果物なども取り上げる。
4	7月26日	<u>ラオス</u> インドシナ半島の小さな内陸国。主体のラオ族の他、多くの少数民族山岳民族が共存する。都会とは隔絶された田舎の暮らし、純朴な国民性、ベトナム戦争の影、最貧国への JICA や NGO の活動などを中心に話す。
5	8月23日	<u>東欧</u> 地理的には、コメコン(1991年まで存在した旧ソ連中心の経済連合)加盟の東ヨーロッパ諸国。民族としてはスラブ系が中心だが、歴史的にアジア系・アラブ系の影響も受ける。ウクライナ・ポーランドを除けば、人口1千万人程度の小国ばかりだが、西欧に近いチェコとハンガリーを中心に、冷戦前後の変化を展望する。
6	9月27日	<u>米国</u> 世界の政治経済の中心たる超大国で、民族多様性の象徴的存在。いわゆる「アメリカ人」は(原住民たるインディアンを除き)存在せず、移民の末裔が生活する。東西南北の地域差による風土や気風の違い、経済格差や異なる人種による共存の難しさなど説明。

受講生が用意する物：筆記用具

- 不明な点は、TAMA 市民塾までお問い合わせください